

2021年7月 全国拡大教材製作協議会 定例世話人会 議事録

出席者：19名

越島(四街道)・傍島(柏)・猪狩(下丸子)・山本(大宮)・宮崎(赤いくつ)  
長田(AEMC)・武田(AEMC)・大谷(AEMC)  
由井(こだまの会)・菅野(こだまの会)・松宮(視援奉)・奥野(ルーペ)  
吉田(のあざみ)・小堀(豊明)・伊藤(みえの会)・勝井(たんぽぽ会)  
深井(国分寺)・付岡(赤いくつ)・坂戸(秋山)

日時：2021年7月28日(水)14:00~16:00

場所：Zoomにより開催

審議事項

先月に引き続き、AEMCより長田氏・武田氏・大谷氏をお迎えし、テキストデータ製作についての課題について、意見交換をした。

\*令和3年度教科書についてのデータ申請は1,741件。内訳は、次のとおり。

拡大写本…33団体(264タイトル) (過年度申請等を合わせて全2500件)  
音 声…7団体(1428タイトル)  
点 訳…3団体(49タイトル)

\*AEMCとしては、できるだけボランティアが使用しやすいデータをつくりたい。

\*AEMCより、図表や画像データ上の文字をどこまでテキスト化するのか、標準的な図表等のサンプルを用いて、説明を受けた。その後、出席グループの拡大教科書製作方法を紹介しながら、テキスト化が必要なところ・テキスト化しなくてもいいところを整理していった。

<図・表・グラフの扱いについて>

小中は基本的に全てテキスト化。

高校については複雑なもの(系図・地図等)はタイトルのみ

<テキスト化されないもの>

ルビ・行番号・複雑な数式・漢字の書き順・発音記号など。

\*字下げについては、中学の国語等、長文が続くものについては採用する方針。

\*発音記号は、出版社によっても違いがあり、現状は対応が難しい。今後検討する。

\*奥付については、著作者の確認等 AEMC で毎年確認・修正に時間を要する。

データの早期の提供を優先して、テキスト化は望まないこととした。(PDFを活用)

\*算数のテキストで、ページと数式が混同してページを探しにくいとの相談があった。

Wordに移してファイルを作成すれば、しおり・色分け等が可能とのこと。

\*デジタルデータの使い方について質問等あれば、なんでも AEMC に問合せ下さい。

よくある質問等は AEMC の HP で紹介することも検討していく。

8月の世話人会はありません。9月は追って連絡します。